

シルバー賞 FiberCraze株式会社・茶久染色株式会社

「一宮市における企業との協働による常温常圧染色プロセスを通じた脱炭素プログラムの推進」

●取組概要

連名応募者である岐阜大学発スタートアップ企業の FiberCraze(株)の代表取締役 長曾我部氏は一宮市出身。茶久染色(株)は、その技術力により大正から続く染色業であり、その両者が地場産業である繊維産業の脱炭素を図る取組。

FiberCraze(株)の繊維内部にナノサイズの孔を物理的に形成し、有効成分を閉じ込める加工技術を使用した糸を茶久染色(株)が常温・常圧で染色加工を行い、従来の130°Cの高温・高圧処理を不要とすることで熱エネルギー由来のCO2排出量を最大75%削減する。

茶久染色(株)が尾州地域で低CO2の繊維製品を製造する加工プロセスを確立し、環境意識の高い欧州での競争力と付加価値の向上を目指す。

●審査員評価ポイント

- ・ 染色業の生き残りを賭けた付加価値づくりの新たな試み。
- ・ 地場産業である繊維産業へ今後の波及効果が期待できる。
- ・ スタートアップ企業と市内企業の役割が明確化されている。

FiberCraze(株)



茶久染色(株)

